# The Learner

# **Doshisha International Academy Elementary School**

June ISSUE



June, 2023 Volume 135

この度、同志社国際学院初等部教頭を拝命いたしました。

教職に就いて31年目になりますが、今までは自分のクラスの学級経営や、学習指導の研究が私自身の関心事でした。 しかしながらこの4月からは、それらに目を向けつつも、学校全体の運営に関わることがメインの仕事となりました。 毎日直面する新しい出来事にあたふたしつつも、ロハス副校長先生や前任の西村先生、前学務幹事の岡田先生のご助言、 そして周りの先生方やきずな会、保護者の皆様のお助けも頂戴しながら毎日を過ごしております(ありがとうございます)。

30年間を振り返りますと、ひとことでは言い切れない経験をさせていただきました。大学を卒業してすぐに公立小学校の教員として採用され、主に学級担任や音楽科の授業研究をさせていただきましたが、ご縁あって国立や私立の様々な学校で勤務させていただき、7年前からこの DIA にて勤務しております。

国公私立問わずそれぞれの学校に特色があり、またそれぞれの学校の子どもたちにも個性が光っていました。その中で子どもたち一人一人に向き合い、周りの先生方や保護者の方々と共に前に進んできた結果、今の自分があるような気がします。

「何事も経験」とでも言いましょうか。良い時でもそうでない時でも、何か物事が起きたときに、最善の方法を考える。それが成功しても失敗しても、自分の成長へと繋がっていく。最近はそんなふうに考えるようになりました。

一方で、アメリカの劇作家として有名なバーナード・ショーは、「人間が賢くなるのは経験によるものではない。経験に対処する能力に応じて賢くなるのである。」と述べています。単に経験するだけでは不十分で、経験する度に学びが必要だということでしょうか。とても深い言葉ですね。

新任教員から 30 年が経ち、教師として自信をもてているかと言いますと、確かにそのように感じることもたまにありますが、実際は不安に思うことの方が圧倒的に多いと思います。

毎日が経験、毎日が成長。どのような職業もそうでしょうが、特に教師という仕事は、辞めるという日が来るまで努力し、成長しなくては、と思います。

毎日が新しい経験であり、自分を成長させるものと捉えて、一日一日を大切に精進してまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。

教頭 風間 寛





# キリスト教教育

6月:思いやり June: Compassion



聖書:「私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。 見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に存続するからです。」



コリントの信徒への手紙二 4 章 18 節 (聖書協会共同訳)

(先月に引き続き、上掲の聖書箇所を選ばせていただきました。) 今回お伝えしたいのはメーテルリンク(Maurice Maeterlinck,1862-1949)というベルギーの作家が書いた、有名な「青い鳥」からのメッセージです。

森の貧しい樵の家に、チルチルとミチルという名前の兄と妹が住んでいました。あるクリスマスの前の晩のこと。チルチル・ミチルの兄妹は「今年サンタクロースは、自分たちの家には来そうもない。」と、ベッドの中で寂しそうに語り合っていました。そこへ突然、魔法使いのような老女が現れ、自分の孫娘の病気を治すため、「青い鳥」を探しに行くよう二人に命じます。「青い鳥」は、持っている人を幸せにしてくれる鳥なのでした。お婆さんはこの鳥を探すためにチルチルにダイヤモンドのついた魔法の帽子を被せます。この帽子には、普段目に見えない物を見えるようにしてくれる、不思議な力がありました。チルチルがダイヤモンドを少し左へ回すと、家の中に住んでいる色々な妖精が出てきました。例えばランプからは光の精が、水道からは水の精が、パンからはパンの精が現れます。飼っていた犬や猫も人間の言葉を話せるようになりました。チルチルとミチルはこの妖精たちを道ずれに、青い鳥を探す旅に出かけることになりました。

彼らは今までに行ったことのない不思議な国を幾つも訪れるのですが、ここでは「幸福の国」を訪れた時の話に焦点 を絞りましょう。

「幸福の国」でチルチルとミチルの一行が最初に出会ったのは、ひどく太った「幸せの精」たちでした。彼らは一行を宴席に招待し、勧められるままに席に付いた妖精たちは飲めや歌えの大騒ぎを始めます。真剣に「青い鳥」を探していたチルチルとミチルは必死になって仲間たちを呼び戻そうとしますが、一旦飲み食いを始めた彼らは「青い鳥」探しに興味を失ってしまい、戻って来ませんでした。そこでチルチルが光の精に命じられた通りに帽子のダイヤモンドを回すと、途端に真実の姿が見えるようになります。その場所は自然の光がやわらかく降り注ぐ平和な花園となり、太った「幸せの精」たちは醜くやせ細った姿に変貌します。そして自らの姿に恥じ入って「不幸の精」がいる場所へと逃げて行くのでした。

真実の姿を現した「幸福の国」へやって来たのは、本物の「幸せの精」たちでした。明るく快活な妖精たちを大勢目の当たりにしたチルチルとミチルは彼らの名を尋ねますが、逆にこの妖精たちに驚かれます。なぜならこれら「幸せの精」たちは全員、常にチルチル・ミチルの家に一緒に住んでいたからです。健康な体、毎日楽しく遊べること、素敵な夢を見られること、春の喜び、夏の喜び、冬の暖かい着物、そして時に我儘を言えることも含めて、全てはチルチル・ミチルと共にある「幸せの精」たちの存在だったのです。

そうこうするうち、チルチルとミチルは向こうから素晴らしいドレスと宝石を身にまとった、女王様のような美しい女性が近づいて来るのを見ます。彼女の名は「母の愛」といいました。てっきり知らない妖精かと思いきや、何とこの女性は彼らのお母さんそのものだったのです。「お母さん、こんな綺麗なドレスと宝石を、一体どこにしまっていたの?」と二人は驚きますが、お母さんは答えます。「母さんはいつもこの服を着ているのだよ。でも、あんた達の目には見えないだけなのよ。」

もしチルチルが被っているような帽子があれば、いつでも物事の真実の姿が見られて道を誤ることなく生きられるのに…と思いますが、たとえ魔法の帽子ではなくとも、私たちには聖書の言葉があります。常に「神の言葉」に触れていれば、まやかしの幸福にたぶらかされることなく、青い鳥だけを見据えて生きていけるのではないでしょうか。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

\*以上は5月24日(水)の朝礼拝で行ったメッセージ内容です。原作の「青い鳥」に筆者の再話が入っておりますことをお断りします。

#### <お知らせ>

・6月7日(水)花の日礼拝

日頃お世話になっている方々に花を贈ります。お子様に花を一輪、お持たせください(大きな花束は要りません)。

・6月13日(火)おにぎり献金

岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「トルコ・シリア大地震」を覚えて、献金を捧げます。 賛同していただける方は、お子様に献金をお持たせください。



# 2年生 校外学習

2年生では教科横断的テーマを "How we organize ourselves"、セントラル・アイデアを"People have different roles in the communities to which they belong.(人々は、自分のコミュニティで異なった役割を果たしている。)"として探究の学習を進めています。子どもたちの学習がより深いものになるよう、4月 18日・25日の2回にわたって「町探検」に行きました。

学校周辺にあるいろんなのお店が、地域の人とどのように繋がっているのかを探究のきっかけとして始めました。地域の人々とお店の人たちのつながりや、お店の人たち同士の役割やつながり、そして責任に至るまで詳しくお話を伺うことができました。

また、子ども達が店員さんに質問した際に、普段使っているお店の中にお客様への細やかなサービスがなされていることを説明してもらって、子ども達はとても感心していました。

学校に戻ってから、グループに分かれて お店のロールプレイ学習に取り組み、土曜 参観で、保護者の皆様に見ていただきま



した。子ども達は、その中に Unit I の Key concepts (Function Connection Responsibility) を織り込んで、それが分かるように工夫しました。

2年生は6月に「琵琶湖方面宿泊学習」に望みます。今回の学びが、宿泊学習の グループの役割をしっかりと果たしてくれることにつながってくれることを期待していま す。









### 「雨の日に読みたくなる本!」

6月は梅雨入りの月でもありますね。

せっかくだから、そんな雨の日には、「雨」が出てくる本を読んでみませんか?雨の日もどうぞ楽しいひと時をおすごしく

ださい。



#### <u>『おじさんとかさ』</u> 佐野洋子作・絵 講談社

雨の日におじさんが出会った素敵なできごと。りっぱなかさがぬれるのがいやで、かさをさそうとしないおじさん。ある雨の日、子どもたちの歌を聞いたおじさんは、初めてかさを広げてみました。すると…。「雨」といえば定番のロングセラーの絵本です。



#### <u>『あめがふるときちょうちょうはど</u> こへ』**M・**ゲアリック作 金の星社

あめがふってきたらちょうちょうは どこへ隠れているの?情緒溢れる美 しい絵に歌う様な文章で、静かな雨の 日の小さな生き物達の様子を描いて います。

静かな雨の日の、小さな生き物たちの 姿を、詩情豊かに描いたこちらもロン グセラー絵本です。



#### <u>『ピッツァぼうや』</u> ウイリアム スタイグ作 らんか社

友達と遊ぼうと思っていたのに雨が 降ってきてしまったので、ピーんなピーんないできてしまったので、ピーんなけるとはそれはそれできまつで。お父さんはそもます。「そうだ」ピートでピッツァをいぞ」ったらたのしくなるかもしれないぞ」お父さんはピートをテープルの、の輪やしたり。油や小麦やでもよってドゲースウダーやボーばびます。おうちでも是非お子さんと!

#### 『あめふりの おおさわぎ』 デイビッド・シャノン作 評論社

ある朝のこと、きゅうに雨がかなりにた。にわとりがなき、大りがなき、からした。にわとりがなわめくだりだったいし、くだりでは車がじゅうたいし、どからないではころがるは、人々はで…って大ったがるは、もまわりさあざある。いるようながりがひきおこにえがめよったがりがいまっ。子ども達にも人気の『だめよす。イビッド!』の作者の本です。



		6月の主な行事・予定
1	木	
2	金	G6 校外学習 G6Field trip
3	土	私小連音楽会 Kyoto private elementary schools concert
4	日	
5	月	Unit2(week2) G5 校外学習(田植 え)/G5Excursion(rice planting)
6	火	
7	水	花の日礼拝/Flower worshipservice 委員会 Student committee
8	木	Swimming (G4,5,6) [62宿泊学習 G2 Overnight]
9	金	G3 校外学習/G3 Field trip trip
10	土	
11	日	
12	月	Unit2(week3)
13	火	
14	水	内科検診 Health checkupG2G3. G2(Yamashiro Park).
15	木	Swimming (G4,5,6) Club Activity
16	金	
17	土	#2 Explanatory Meeting / 第 2 回学校説明会
18	日	
19	月	Unit2(week4)
20	火	
21	水	G4 宿泊学習 C
22	木	Swimming G4 Overnight trip
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	Unit2(week5) G6 conference of recommendation system
27	火	G6 conference of recommendation system
28	水	午前授業(同志社研修のため)AM Lesson
29	木	G6 conference of recommendation system
30	木	·
		7日の主な行車・圣中

# 7月の主な行事・予定

6/30 学期末授業参観

**13~18** 学期末カンファレンス(希望者のみ)

<mark>19</mark> 春学期終業礼拝(午前中授業)

